



こどもの矯正

スマイル矯正歯科
中澤 真紀

歯並びやかみ合わせが悪い状態を「不正咬合」といいます。綺麗な歯並びは自信に繋がり、きちんと噛み合う歯は虫歯や歯周病になり難く、消化吸収を助けて栄養をしっかり身体に取り込むことができます。

ところが現代は食べ物が欧米化し、スマホやゲームで姿勢が悪くなり、運動能力も低下して、不正咬合の子供たちが増えてきました。また、うまく噛めない・呑み込めない・構音がおかしいといった口の機能面での発達に遅れが見られたり、違った機能をしていたりという子供たちも増えてきました。

その一方で、寿命が延びて人生100年時代を迎えようとしています。矯正治療をしなければ命に係るということはないものの、ココロもカラダも健康で未来を迎えるために、歯並びやかみ合わせが良いに越したことはありません。大人になってから矯正治療をすることももちろん可能ですが、成長期の子供のうちに「口」としての役割を果たせるようになることの意義は大きいのです。

今回は、子供たちにしばしば見られる不正咬合の種類や原因、予防、そしてこどもの矯正治療についてお話させていただこうと思います。

「口がココロとカラダを育てていく」…未来を担う子供たちの健康を、皆様とともに考えていく時間となれば幸いです。

略歴

日本大学歯学部卒業 同 矯正学教室にて研修

日本矯正歯科学会 認定医

アンチエイジング歯科学会理事 認定医

日本成人矯正歯科学会常務理事 認定医、臨床指導

医（旧：専門医）

スマイル矯正歯科 副院長